



福司 憲友 議員

町営診療所の 今後について

質問 診療所医師は今年で退職を迎えるが、引き続き診療頂きたいとの住民の要望が強い。これにどう応えるのか。
答弁(町長) 引き続き診療して頂くようお願いしたが、合意に達していない。今後も誠心誠意お願いして出来るだけ早く結論を出せるよう努力する。



住民から継続して診療して欲しいとの要望が強くある

広域の農道路線の変更について

質問 広域農道が県道に昇格し、それに伴って今までの県道が町道に変更になるが今後の事業計画や管理はどうなるのか。
答弁(町長) 蝙蝠淵線は舗装改良が必要であり、継続し事業実施するよう県に要望する。
振替路線についてもこれまで要望してきた箇所の改善は、振り替え後も実施するよう要請している。

交付金事業について

質問 雇用対策支援や住宅リフォーム事業の継続を願う声が高い。継続の考えがあるのか。
又、プレミアム商品券についてはどうか。
答弁(町長) 町の雇用創出基金残高が今年度でほとんどなくなる。継続する場合は、新規性や将来性等十分に検討し、新たに雇用創出に結び付く事業に限定して補助金交付しなければと考えている。プレミアム商品券についても継続実施する場合、プレミアム率、限度額、対象者、発行時期等十分に検討した上で判断したい。
又、住宅リフォーム事業については県でも継続したいとしているが、補助対象額や補助率等詳細について検討中のようにある。町でも県と合わせ、継続の計画でいるが、

県同様詳細については今後検討する。
再質問 「雇用創出活動支援事業」補助交付金の他にやる気のある方には町独自で研修費や材料費を交付してもよいのではないか。
又、住宅リフォーム補助金の他に下水道に加入した方には5万円上乗せ支給しても良いのではないか。
プレミアム商品券について購入者に抽選でハタ館での食事券や入浴券が当たる抽選券を付けて早く完売する等体制を考えたらいかがか。
答弁(町長) 雇用創出事業については、今、議員が言った事も念頭に検討したい。
下水道に加入した場合の5万円上乗せについてはもう少し精査したい。
又、プレミアム商品券は一番タイムリーに一番効果の上がる方法で考えたい。

職員の勤務評定について

質問 職員は地方公務員法により身分が保障されているが、これは行政の安定化、持続化を保持するためのもので、職員の個々の能力を保障するものでない。「町の職員は何かのんびり構えて居る」と住民から見られている。それが住民意識の現実だ。
人口減少が続くと人口比に応じた職員数に合わせて行く事態を想定すると、限られた財源の中で行政に携わる人材を発掘し、育成し、特に厳しい財政状況の元で、効率の良い仕事を進めることが求められる。職員の勤務

評定をどのように実施し、その結果、職員の人事配置に活用しているのか。
答弁(町長) 定期昇給時や期末勤勉手当支給時に勤務成績に応じて手当支給に反映させている。仕事の質、勤務規律、責任感、積極性、協調性、知識技術、理解力、企画力、応接応対力、指導力等の評価項目や評価内容を精査、検討し、なるべく早い時期に評価基準を定めたい。
再質問 職務怠慢や失敗があつて町長が呼びつけられていることはあるのかどうか。
それが減額ならびに手当の削減対象になつてい

るのか。
答弁(町長) 内容によって懲戒に当たるものについては、当然そういう影響もあつたという事実もある。
能代山本広域市町村圏組合について
質問 広域圏組合の運営や提案事業は新聞報道を見て始めて知る事が多い。理事会の提案内容が新聞報道され、その数日後に議会承認されている。住民への説明と意思を確認しながら運営するべきものではないのか。
答弁(町長) 本組合は、一つの自治体では困難な、あるいは効率の上からない事務事業の共同処理を行っており、事業の決定に関しては事務局案を能代市と三町の担当課長会議で協議、その協議した案件を首長による理事会で方針・方向性や提出議案を決定、4市町の議会



身近なところでは八峰消防署も能代山本広域市町村圏組合で運営されている

議長を含む16人の議員で予算や議案を審議している。今後の情報発信は、平成24年4月に開設される組合のホームページも含めて、より事務事業の周知が図られるよう要請したい。
再質問 住民の皆さんが理解できる機会がないまま進んで、最終的に各市町村議会に負担金の提案がされる進め方は不自然だ。
答弁(町長) 市町代表と議会代表の意見を出してチェックをしながら予算を決めているので、信頼してほしい。



山本 優人 議員



八峰町職員の勤務評定はどうなっているのか